



## 2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東  
 コード番号 3904 URL http://www.kayac.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 柴田 史郎 (TEL) 0467-61-3399  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	5,689	35.4	577	96.5	624	108.4	442	133.8
2020年12月期第2四半期	4,200	38.8	293	—	299	—	189	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 553百万円(326.9%) 2020年12月期第2四半期 129百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	29.13	28.85
2020年12月期第2四半期	12.49	12.39

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	7,077	3,131	40.7
2020年12月期	7,024	2,629	34.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 2,883百万円 2020年12月期 2,428百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	3.90	3.90

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	14.3	1,000	34.3	950	28.2	580	14.8	38.15

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期2Q	15,210,400株	2020年12月期	15,201,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	164株	2020年12月期	164株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期2Q	15,205,679株	2020年12月期2Q	15,170,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、個人消費や雇用情勢に弱さがみられます。内閣府は2021年7月の月例経済報告において、景気の先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染の動向が内外経済に与える影響に十分注意する必要があると指摘しております。

当社グループを取り巻く事業環境としまして、2019年のスマートフォン保有率が前年比4.2%ポイント上昇の83.4%となり、モバイルでのインターネット環境は引き続き発展を続けております(出所:総務省「令和2年版情報通信白書」)。当社が注力するインターネット広告市場についても、2020年の市場規模は前年比5.9%増の2兆2,290億円となり、総広告費が前年比11.2%減となる中でも、成長を続けております(出所:電通「2020 日本の広告費」)。また、ゲーム総合情報メディア「ファミ通」によれば、国内eスポーツ市場規模は2020年に前年比9.2%増の66.8億円となり、2021年は同29.9%増の86.7億円へ拡大する見込みです。

このような事業環境の中で、当社グループはより多くのユーザーに楽しんでいただけるよう良質なデジタルコンテンツを提供し続けております。その中でも、クライアントワーク、ゲーム、ゲームコミュニティ、ちいき資本主義の4つを主要サービスと位置づけ、相互にシナジーを図りながら事業を進めてまいりました。また、その他サービスとして、SNSプライダンプラットフォームなどの新規サービスの開発及び投資を行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,689,307千円(前年同期比35.4%増)、営業利益は577,291千円(前年同期比96.5%増)、経常利益は624,211千円(前年同期比108.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は442,938千円(前年同期比133.8%増)となりました。当社グループの事業セグメントは単一セグメントであります。サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

#### ① クライアントワーク

新しい技術とアイデアに挑戦し、クライアントとその先にいるユーザーに新しい体験を提供することで、クライアントのマーケティング及びブランディングに資する広告を提供しております。スマートフォンの普及や新しい技術の出現を背景に、WEB領域にとどまらないリアルと連動した案件が増加傾向にあります。また、当社の企画力、技術力をもとにクライアントの新製品開発を支援する領域にも進出しております。この結果、クライアントワーク関連の売上高は、1,346,019千円(前年同期比37.7%増)となりました。

#### ② ゲーム

「ぼくらの甲子園!ポケット」、「キン肉マン マッスルショット」、ハイパーカジュアルゲーム、(株)カヤックアキバスタジオでの受託ゲーム開発が売上高の大部分を占めています。ハイパーカジュアルゲームにつきましては、2021年第2四半期に新作タイトル「Ball Run 2048」を正式にリリースし、全米のApp Store無料ゲームランキングで5位およびカジュアルゲームカテゴリで1位を獲得するなど好調に推移した結果、既存タイトルの一部にピークアウトの傾向が出てきたものの、ダウンロード数は直前四半期比1.7%増の4,639万件となりました。また、(株)カヤックアキバスタジオでの受託事業は拡大基調にあります。この結果、ゲーム関連の売上高は2,500,273千円(前年同期比24.3%増)となりました。

#### ③ ゲームコミュニティ

ゲームファンに向けた一連のコミュニティサービスを展開しています。ウェルプレイド・ライゼスト(株)のeスポーツ事業、スマートフォンゲームに特化したコミュニティの「Lobi」、トーナメントプラットフォームの「Toname1」が売上高の大部分を占めております。ウェルプレイド・ライゼスト(株)では大型のeスポーツ大会の運営の受託案件が当第2四半期連結累計期間の増収に寄与しました。また、対戦形式の拡充等が追い風となり、2021年第2四半期におけるToname1の大会開催数は直前四半期比20.4%増の2,316件となりました。この結果、ゲームコミュニティ関連の売上高は、1,160,766千円(前年同期比65.9%増)となりました。

#### ④ ちいき資本主義

地方公共団体や地域企業に対して、まちづくりに関するコンテンツの開発とサービスの提供を行っております。移住プラットフォームサービスの「SMOUT」、コミュニティ通貨サービスの「まちのコイン」、地域プロモーションの受託、鎌倉市内で展開するまちづくり事業などのサービスが売上高の大部分を占めております。2021年6月末時点で、SMOUTの累計登録ユーザー数は直前四半期末比10.6%増の2.79万人となり、順調に拡大しております。この結果、ちいき資本主義関連の売上高は、230,155千円(前年同期比38.4%増)となりました。

## ⑤ その他サービス

ブライダルプラットフォーム「プラコレWedding」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、2020年上半期に業績が悪化した後、緩やかな回復基調にあります。また、湘南地域への移住ニーズが追い風となり、子会社で展開する不動産仲介業が堅調に推移しております。この結果、その他サービス関連の売上高は、452,091千円（前年同期比30.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ52,545千円増加し、7,077,019千円となりました。主な要因は、仕掛品の増加110,895千円および繰延税金資産の減少96,457千円であります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ448,632千円減少し、3,945,979千円となりました。主な要因は、長期借入金の減少312,300千円であります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ501,178千円増加し、3,131,040千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加442,938千円であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ17,332千円減少し、2,496,027千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは473,949千円の収入（前年同期間は735,259千円の収入）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益716,908千円の計上、たな卸資産の増加110,895千円、法人税等の支払額158,398千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3,325千円の支出（前年同期間は36,938千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出63,429千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは490,901千円の支出（前年同期間は240,804千円の支出）となりました。これは、短期借入れによる収入206,000千円等の増加要因があった一方で、長期借入金の返済による支出647,345千円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2021年2月15日公表の「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更していません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,513,250	2,496,027
受取手形及び売掛金	1,517,539	1,583,796
仕掛品	163,347	274,242
その他	234,919	191,073
貸倒引当金	△43,912	△45,793
流動資産合計	4,385,143	4,499,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	856,589	827,506
土地	609,928	609,928
その他(純額)	59,701	87,622
有形固定資産合計	1,526,218	1,525,057
無形固定資産		
のれん	389,771	358,256
その他	207,085	203,108
無形固定資産合計	596,857	561,365
投資その他の資産		
投資有価証券	147,096	244,018
繰延税金資産	229,611	133,153
その他	193,217	167,750
貸倒引当金	△53,671	△53,671
投資その他の資産合計	516,253	491,251
固定資産合計	2,639,330	2,577,674
資産合計	7,024,473	7,077,019
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	388,978	533,969
短期借入金	103,000	306,000
1年内返済予定の長期借入金	963,644	638,599
未払金	448,525	489,305
未払費用	230,383	207,688
未払法人税等	172,852	180,721
その他	354,305	175,323
流動負債合計	2,661,689	2,531,607
固定負債		
長期借入金	1,704,857	1,392,557
その他	28,064	21,814
固定負債合計	1,732,922	1,414,372
負債合計	4,394,611	3,945,979

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	523,967	525,451
資本剰余金	470,308	471,791
利益剰余金	1,446,505	1,830,146
自己株式	△208	△208
株主資本合計	2,440,572	2,827,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,607	56,486
その他の包括利益累計額合計	△11,607	56,486
新株予約権	50,035	54,002
非支配株主持分	150,861	193,370
純資産合計	2,629,862	3,131,040
負債純資産合計	7,024,473	7,077,019

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	4,200,774	5,689,307
売上原価	2,395,663	3,091,276
売上総利益	1,805,110	2,598,030
販売費及び一般管理費	1,511,313	2,020,738
営業利益	293,797	577,291
営業外収益		
受取利息	511	1,609
受取配当金	204	125
助成金収入	12,000	7,559
投資有価証券売却益	2,100	—
保険解約返戻金	—	29,591
為替差益	—	8,846
その他	8,431	7,831
営業外収益合計	23,247	55,562
営業外費用		
支払利息	3,370	4,284
持分法による投資損失	5,326	—
為替差損	8,711	—
支払保証料	—	2,692
その他	57	1,665
営業外費用合計	17,465	8,642
経常利益	299,579	624,211
特別利益		
投資有価証券売却益	—	92,696
特別利益合計	—	92,696
税金等調整前四半期純利益	299,579	716,908
法人税、住民税及び事業税	57,974	164,968
法人税等調整額	51,303	66,688
法人税等合計	109,277	231,656
四半期純利益	190,301	485,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	836	42,313
親会社株主に帰属する四半期純利益	189,465	442,938

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	190,301	485,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,645	68,289
その他の包括利益合計	△60,645	68,289
四半期包括利益	129,656	553,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,819	511,032
非支配株主に係る四半期包括利益	836	42,509

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	299,579	716,908
減価償却費	68,350	82,495
のれん償却額	27,649	31,514
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	1,881
受取利息	△511	△1,609
受取配当金	△204	△125
助成金収入	△12,000	△7,559
支払利息	3,370	4,284
為替差損益(△は益)	—	△4,296
持分法による投資損益(△は益)	5,326	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△92,696
投資有価証券評価損益(△は益)	△2,100	—
売上債権の増減額(△は増加)	257,905	△66,256
たな卸資産の増減額(△は増加)	△29,086	△110,895
仕入債務の増減額(△は減少)	△63,245	144,990
未払金の増減額(△は減少)	110,016	44,430
未払費用の増減額(△は減少)	△27,057	△22,694
その他	106,914	△93,032
小計	744,905	627,338
利息及び配当金の受取額	716	1,734
利息の支払額	△3,370	△4,284
法人税等の支払額	△18,992	△158,398
助成金の受取額	12,000	7,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	735,259	473,949
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,852	△63,429
無形固定資産の取得による支出	△43,372	△17,246
投資有価証券の取得による支出	—	△26,320
投資有価証券の売却による収入	2,100	121,464
敷金及び保証金の差入による支出	△2,206	△32,438
敷金及び保証金の回収による収入	2,392	4,475
その他	10,000	10,168
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,938	△3,325
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,500	206,000
短期借入金の返済による支出	△4,000	△3,000
長期借入れによる収入	71,000	10,000
長期借入金の返済による支出	△318,572	△647,345
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,693	2,967
配当金の支払額	△23	△58,603
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,000	—
その他	5,598	△918
財務活動によるキャッシュ・フロー	△240,804	△490,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	2,944
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	457,516	△17,332
現金及び現金同等物の期首残高	1,256,091	2,513,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,713,608	2,496,027

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。